

令和6年度第3回花巻市立図書館協議会 会議録

1 開催日時

令和7年3月18日（火） 午前10時～12時10分

2 開催場所

花巻市立花巻図書館 会議室

3 出席者

（1）委員（8名）

堀合範子委員、中里美香委員、高野橋加子委員、熊谷恵委員、
坂本知彌委員、佐藤三恵子委員、菅原元委員、白岩拓樹委員

（2）事務局（10名）

菅野生涯学習部長、鈴木花巻図書館長、伊藤大迫図書館長、
辻村石鳥谷図書館長、菅東和図書館長、高橋花巻図書館副館長、
佐々木花巻図書館業務係長、大森石鳥谷図書館主査、
高橋新花巻図書館計画室次長、幅下新花巻図書館計画室主査

4 欠席者

4名（浅沼清智委員、小田島圭委員、高橋和也委員、内村悦子委員）

5 傍聴人

なし

6 議題等（議事録）

◎会議成立の報告（高橋花巻図書館副館長）

- ・委員12名のうち8名出席。出席委員数が構成委員の過半数を超えているので、花巻市立図書館協議会規則第7条により、本会議が成立することを報告。

1 開会（高橋花巻図書館副館長）

2 あいさつ（坂本会長）

改めまして皆様おはようございます。

年度末のお忙しいところお集まりいただきましてありがとうございます。
本日の資料ですけれども、レターパックでドサッと届いてびっくりしました。
読んでも読んでも終わらないというような感じで、中身が今日はいっぱいありますので、どうぞよろしくお願いいたします。

3 議題（図書館協議会規則第6条により会長が議長となる）

（1）令和6年度花巻市立図書館の事業実施状況等について

- ・令和6年度花巻市立図書館の事業実施状況について（令和7年2月末までの実施状況）

花巻図書館から順番に各館から説明。

花巻：佐々木業務係長、大迫：伊藤館長、石鳥谷：辻村館長、
東和：菅館長

（質疑）

（○坂本会長）

ご質問等ございませんでしょうか。中里委員さん。

（○中里委員）

今年度も小中学校の施設見学や高校生の職場体験の受け入れなどをしてくださってありがたいなと思っています。ぜひこれからもよろしくお願いします。5ページの花巻図書館の「調べもの学習講座」が目に残りました。学童から依頼されてやったようですが、場所が図書館でなくても司書が出向いて実施できるということでしょうか。

（○佐々木花巻図書館業務係長）

生涯学習課でやっておりますふれあい出前講座の一つのメニューでありまして、図書館の職員が出向いて今回はポプラディアの使い方とか、そういう資料を使って調べるコツについてみんなで学んだところです。

（○中里委員）

わかりました。学童さんでは長期休み中は時間がいっぱいあると思うので、ほかに図書館ができる講座とかがありましたら、学童さんに周知してもらって子どもたちも充実して過ごせるかなと思いました。

（○坂本会長）

ほかにございませんか。はい、佐藤委員さん。

（○佐藤委員）

先ほどの補足なんですけど、児童書のわくわくタイムを卒業した、もう来なくなったお子さんたちを対象に、物語とか科学絵本を紹介したいとずっと思っ

ていて、東京こども図書館とかのリストにある古い本とかでも、私が大人になってしまってから、読まないでいる良い本とかを、読まないで死ねないみたいな気持ちで読んでるんですけど、それでいいなと思った本とかを紹介したいと思って、紹介することにしたんです。表紙にどんなメッセージが込められてるのかって、改めて思って、表紙を見せて、こういう本だよっていう紹介文をつけることによって、古い本でも借りられるっていうね。本当実感しました。今まで10月からやり始めて25冊くらい紹介してるんだけど、ほとんど借りられてるんですよ。表紙は大事なんだって思いました。

(○坂本会長)

表示大事ですね。

読み聞かせにここに連れてくると、そこに関連本を置いてあるんですけど、子供たち手にとりますよ。やっぱり立てておいて背表紙だけじゃなくて、この表紙を見ることによって、何か心に響くものがあるんでしょうね。

はい、とってもいいお話をいただきました。

表紙を見せるっていうことにも、どうぞよろしくお願いいたします。

はい、堀合委員さん。

(○堀合委員)

5 ページの花巻図書館のふれあい出前講座ですけれども、図書館に行けない、交通手段のないお年寄りにも大変いいことだなと思っています。ただ、行くということは人手がかかるということ。東和にも出向いたわけですよ。そうしますと、旧3町にも石鳥谷ですとか大迫にも要請があれば出かけていくということでしょうか。

(○鈴木館長)

日程の都合がつけば、市内どこにでもお邪魔させていただきます。

(○堀合委員)

はいわかりました。大変よい試みだと思います。

(○坂本会長)

それでは周知徹底して、図書館がますます忙しくなるようにお願いします。

ありがとうございます。

他にはございませんでしょうか。それでは次に移ってよろしいでしょうか。

それでは議題の2番目、図書館来館者アンケートの結果報告についてお願いします。

(2) 図書館来館者アンケートの結果報告について

・図書館来館者アンケートの集計結果について、鈴木花巻図書館長が説明

(資料2)。

(質疑)

(○坂本会長)

本当にわかりやすく集計していただいたので、読んでいて、そうさそうさ、と思うところがあったりしましたし、イトーヨーカドーの返却ボックスは便利だったんだな、というのもしみじみと思いました。なんか寂しくなりますね。でもまた、ヨーカドーみたいなのを見つけていただいて、市民の便利さにご協力いただければと思いますので、よろしくお願いします。

この、アンケートのところのご質問はありませんか。

はい、菅原委員さん。

(○菅原委員)

私この期間にアンケート受けていなかったもので、一委員といいますか、利用者としての意見ということにさせていただきたいのですが、雑誌とかですね、最新版の雑誌がよく本屋さんに、書店に出てますが、図書館に来てみると、我々が手にして見るのに少し時間がかかって、日程がかかってるといいますか、素早く連動しているとですね、最新版が見れるんで、発売した後、しばらくしてまだ出てないとちょっと残念ということもありますので、特に雑誌とか出たものについては、早く一般市民が手に触れるような配慮をいただければなというお願いになります。以上です。

(○鈴木館長)

少しでも早く配架できるようにと思いますが、どうしても登録の手順がありますので遅れることもあるかと思います。少しでも早く並べたいと思います。

(○坂本会長)

よろしくお願いします。他にはございませんか。

はい、堀合委員さん。

(○堀合委員)

10 ページの下の 12 番のところですけど、「書庫 1 階部分」とありますが、どこにあるんでしょうか。2 階はカウンターの向こう側にあるんですけど。

(○鈴木館長)

「花巻図書館の書庫 1 階は誰でもお入りいただけます」とありますが、2 階カウンターの奥の書庫が、書庫 1 階になります。その中に階段があって、上がった上の階を書庫 2 階というように私たちは呼んでいます。なので、皆さんがいらっしゃるこの 1 階のフロアに書庫があるということではなく、2 階カウ

ター奥の書庫が2層になっているというものです。

(○堀合委員)

わかりました。それから次のページの15番ですが、本を借りる際のトートバッグが欲しいですという意見があったようですが、確か高田の図書館に行ったときに袋がいっぱい置いてありまして、その時はまだコロナの時期でしたが、1回ごとに消毒して外に干すとか、消毒液が乾くまでですかね、そういうふうな対応をしているという話をちょっと聞いたような気がします。本当に薄いバッグだったように思いますが、このアンケートの意見を見てなるほどと思いました。本来は個人で準備するものだとは思いますが、高田の図書館さんをちょっと参考にして検討の余地があればお願いしたいと思います。

(○鈴木館長)

花巻の4図書館では、不織布のバッグはお貸ししておりますが、アンケートにあるようなおしゃれなトートバッグではないものですから、それは答えにはならないのかなと思いましたので、触れませんでした。また、あると良いと書いていただいたバッグは、貸出し用なのか、図書館のグッズとして販売してほしいという意味なのか、その辺もどう捉えたらいいかという悩みもありましたが、入れ物用としてお貸しするだけという意味であれば、以前からご利用いただいております。

(○堀合委員)

大変たくさんまとめていただいて、相当な労力がかかったんじゃないかなと思って感心して見させていただきました。このアンケートの集計結果というのは、何かの形で公開しているのでしょうか。

(○鈴木館長)

アンケートの結果は1階の入ってすぐその情報コーナーにも置いてあります、2階にも配架しています。図書館のホームページでも公開しております。

(○坂本会長)

袋の件ですけど、岩谷堂の図書館もやっているんですよね。それで図書館から借りてきた本をなくさないように、家でもそれに入れて出し入れするからすごく便利だっというように聞いたことがあります。岩谷堂は図書館の利用率も結構高いんですけど、そういうふうな考え方もあるんだなと思います。あちこちに置くと本なくなっちゃったりするので、それに入れておくといいのかなというのはあるのかなと思います。

それでは、アンケートについて他にはございませんでしょうか。

はい、白岩委員さん。

(○白岩委員)

6 ページにイベントに参加したことがないという意見があります。興味がないとか知らないっていうのがあると思うんですが、例えば広報はなまきとかにも、イベントをやっている写真とかがないと、ちょっと何やっているか分からないので、できればホームページにイベントの写真を載せるとか、そうすれば参加しやすいんじゃないかと思う。私はビブリオバトルって前に出たことがあるんですけど、そういう大人向けのもいいから、あのビブリオバトルは普通の読者が自分の好きな本について5分間スピーチするもので、なかなかちょっと出たがりでないで大変ですが、でも結構面白かったです。石鳥谷でやって、その後花巻でも。やっぱりホームページにそういう風景を載せていってほしいのですが、予算もかかるので、アイデアとしては、まきまき花巻に投稿する。例えば記者の人誰かに言って、あれは無料でできますから、使って発信するとかしたらいいんじゃないかなと思います。以上です。

(○坂本会長)

他にございませんか。それでは次の議題に移ってよろしいでしょうか。

それでは、令和7年度花巻市立図書館の運営方針及び事業計画についてご説明をお願いします。

(3) 令和7年度花巻市立図書館の運営方針及び事業計画について

- ・令和7年度花巻市立図書館の運営方針及び事業計画について、鈴木花巻図書館長が説明（資料3）。

(質疑)

(○坂本会長)

質問はございませんか。はい白岩委員さん。

(○白岩委員)

図書館運営方針のことですが、私の方で今日プリント配らせてもらったのにも書いてあるんですけど、新花巻図書館の基本方針と花巻市立図書館運営方針と二つあるんですが、今の図書館運営方針も素晴らしいなと。基本方針三つ、「地域を支える情報基盤」と「生涯学習の拠点」と「知的資産の保存施設」で、すっきりと書いていてすごくわかりやすく素晴らしいなと思います。花巻市立図書館の運営方針があって、さらに新花巻図書館の基本構想が平成29年にできたんですが、当然それに向かって、花巻市立図書館運営方針も寄せてくるのかなと思ったら、運営方針は変わってないですね。どちらが、上位計画、

もしかしたら花巻市立図書館運営方針が上位で、新図書館は四つの図書館のうちの一つだから、何か寄せるとか。立て付けとしてなんか重点目標の置き方がちょっと違うというか、花巻市立図書館運営方針の場合は生涯学習と子ども読書活動の方を重きに置いていて、新花巻図書館の基本構想の場合は歴史とか先人の郷土資源、親しみやすいを目指して、ちょっと微妙に何か方向性が違うような気がするのですが、運営方針を同じ方向にする、そういう協議はしないのかなと思いました。別々で考えているのか、その辺はどうなっているのかと思ひまして。

(○鈴木館長)

端的に申し上げますと、別々に考えているというのが今の状況です。ただ、運営方針の中の重点目標の4つ目に新花巻図書館整備に向けてというところがござります。白岩委員にご指摘いただいた通り、この建物が新しくなる、そして4館の体制も新しくなる、というふうに変わっていくと思いますので、白岩委員のお言葉を借りると、寄せていくというのが分かりやすいのかなと思いますが、花巻市立図書館として新花巻図書館の整備に向けてそういった整理をしていきたいと考えています。間もなく試案が出来上がるというところですので、それが完成したら、花巻市立図書館としてどのように運営方針を変えていくのか、書き換えていくのか、文言の整理というか中身の整理とか、それをこれからしていきたいと思いますが、現時点では花巻図書館が以前からやってきたことを引き継ぎながら、今必要なものを盛り込んでいるという状況です。

(○白岩委員)

わかりました。設備自体が違ってくるから当然違うんです。ただ、急に中の体制が建物がガラッと変わるに至って、なかなか内部の教育なり研修なり徐々に移行するようなことをしないと、急に大きくなった分、対応できなくなるんじゃないかと心配していますので、そういうソフトの面で移行できるようにしていただきたいなと思います。

(○鈴木館長)

ありがとうございます。新しい図書館が出来たからと言って図書館がガラッと変わるわけではないのは全くその通りですので、今の段階から変えていかなければならないと思います。ただ、運営方針に関しては今までのものを継続した中で改善を少しずつということです。今おっしゃっていただいたようなことを考えながら、開館時間、休館日も新しい図書館になったらどうなるかを考えながら、今の図書館についても考えていく必要があると私は考えておりますので、その際にご相談させていただきたいと思います。

(○坂本会長)

よくわかりました、ありがとうございます。

令和7年度花巻市立図書館運営方針について、よろしいでしょうか。

それでは、その他に移ります。新花巻図書館の整備基本計画についてご説明をお願いします。

(4) その他

(○菅野生涯学習部長)

生涯学習部長の菅野です。

いつもありがとうございます。

新花巻図書館につきましては、前回2か所の建設候補地について比較調査を実施して、その概要をご説明いたしました。また意見集約のために市民会議を開催しているというお話をいたしました。2月に市民会議の方、終了いたしまして、その結果を受けて市の方では建設用地をJR花巻駅前の用地という方向性を選択したところでございます。整備基本計画の方に建設候補地を今回明記いたしまして、先日新花巻図書館整備基本計画試案検討会議の方にお諮りいたしまして、この案で進めてよろしいという結果になりましたので、今回の図書館協議会、またこの後、社会教育委員や教育委員の皆さんにもご説明し、ご意見をいただくこととしております。その後、市民参画の手続きということで、中にはこの図書館協議会での審議も含まれておりますけれども、パブリックコメントや市民説明会を行うということでその市民参画手続きを経た上で、最終的には教育委員会議の中で基本計画を決定いただくということになります。流れといたしましては、この教育委員会での決議を経まして、基本計画に基づいて、図書館の設計等に関する経費について議会の方に予算をお諮りして決定いただければ、これに向かって進んでいくという流れでいくことになってございます。本日はその計画の試案、まとまったものができておりますので、まずは図書館協議会の皆さんにご意見をいただきたいと思いますのでどうぞよろしくお願いいたします。説明の方担当の方から行いますのでよろしくお願い致します。

(○高橋新花巻図書館計画室次長)

新花巻図書館計画室の次長をしております高橋と申します。よろしくお願い致します。すいません着座にてご説明させていただきたいと思っております。

それでは新花巻図書館基本計画試案についてご説明させていただきたいと思っております。資料につきましては私どもが準備させていただきました資料1-1をご準備いただければと思っております。

新花巻図書館の基本計画試案につきましては令和２年度に実施しました図書館ワークショップで出された意見などを反映して作成した新花巻図書館整備基本計画試案をもとに、新花巻図書館整備基本計画試案検討会議をこれまで１６回開催してまいりました。今回提示いたしました試案につきましてはそれら意見を踏まえて加除修正したものになります。新図書館が提供するサービスや機能、蔵書構成などについて一定の整理はできたものと考えております。これらの検討してきた内容につきましては、新しい図書館の検討状況として、新図書館の面積、多様な活動スペースやカフェスペースの設置などのハード面その他、収蔵資料、開架資料数や開館時間、閲覧貸し出しのサービス内容等具体的な内容、また具体的な蔵書構成、宮沢賢治などの先人資料を充実させることについてイラストなどを交えて、第１５回の試案会議でご説明しましたし、広報はなまきでもお示ししておりましたので、ご覧になった委員の方々もいらっしゃるかと思います。またそれらにつきましては総合支所、各図書館、各振興センターにも配架しておりましたので、皆様にお知らせしている状況であることをまずご説明させていただければと思います。

それでは具体的に試案についてご説明させていただきますが、何分枚数が多いものですから時間の関係で重要と思われる部分を抜粋、中心に説明させていただきます。

２ページ目をお開き願います。中段この基本計画の位置づけという部分です。この基本計画ですが、花巻市は平成２９年８月に新しい図書館の整備にあたっての根幹となる構想を示しました。新花巻図書館整備基本構想を市民参画の手続きを経て決めました。新花巻図書館基本計画は新図書館における具体的なサービスの内容や施設及び建設場所について新花巻図書館整備基本構想をより具体的に示すもので、今後実施する設計などの基本となる計画となります。令和２年の市議会新図書館整備特別委員会の提言を受けて、図書館ワークショップ、各種団体などの意見交換を実施いたしておりますし、専門家による新図書館整備基本計画試案検討会議において基本計画試案を検討して、その結果について令和４年１０月から１２月に市民説明会を開催しております。今回の基本計画はその後において、建設候補地については先ほど部長が申し上げました通り比較調査だったり建設場所に関する市民対話型の市民会議を受けまして建設候補地が一定整理できましたのでそれを踏まえて整理したものですし、この内容につきましては、３月１１日に開催いたしました試案検討会議でもご意見を頂戴した上で皆さんにお知らせさせていただいております。

まず２ページ以降計画策定までに実施した新花巻図書館の整備の背景や市民

のニーズ調査について記載しております。説明についてはすみません、こちらは省略させていただきますのでご確認いただければと思います。

次に 13 ページをお開きいただけますでしょうか。こちら平成 29 年 8 月、市民参画手続きを経まして策定した新花巻図書館整備基本構想では、基本方針を定めております。新花巻図書館基本計画には、その基本方針をそのまま活かしたいと考えております。基本方針では長くなりますが、前段の部分そのまま読ませていただきます。「本市は宮沢賢治や萬鉄五郎を初めとした多くの先人を輩出しています。江戸時代の先人を顕彰した「鶴陰碑」に記された人々は、自らの研鑽に精進し、学術文化はもとより地域や産業の振興と発展、そして後継者の育成に努力を重ねてきました。花巻には歴史的に学びの風土があり、この精神は私たちも次の世代に受け継いでいかなければなりません。新しい花巻図書館の整備にあたっては、市民 1 人ひとり生活や活動を支援することを基本的に考えながら、先人が育んできた「学びの精神」を受け継ぎ、図書館が次世代を担う子どもの読書活動を支援し豊かな心を育てる施設として、また情報を地域や産業に結び付ける施設として、まちや市民に活力と未来をもたらす図書館を目指して、次の 3 つの基本方針とします。」としております。先ほど白岩委員さんがおっしゃった三つの基本方針は、基本方針でわかりやすくということで、短く三つ書いております一つ目は「郷土の歴史と独自性を大切にし、豊かな市民文化を創造する図書館」、二つ目が「すべての市民が親しみやすく使いやすい図書館」、三つ目が「暮らしや仕事、地域の課題解決に役立つ知の情報拠点としての図書館」、の三つの基本方針を定めまして、この方針に基づき、基本計画草案をまとめております。内容につきまして具体的に何をするかという部分につきましては、それぞれの方針の下に書かれておりますので、あわせてご確認いただければと思います。

次に 14 ページをお開き願います。中段、新花巻図書館のサービス目標というところでございます。新花巻図書館は先ほど来申し上げました通り新花巻図書館整備基本構想に示されている三つの基本方針をもとに、多くの方々に利用していただけるよう、特定のサービス目標を設定いたしました。一つ目です。人口 1 人当たりの貸出冊数目標ですが、花巻市立図書館の現状人口 1 人当たり貸出数は 3.3 冊です。新花巻図書館はオープンから 10 年後、全国公立図書館の貸出密度上位館の数値を参考にさせていただきまして、1 人当たり貸出冊数を 11.7 冊に引き上げることを目標といたしました。次の個人貸出登録者割合目標ですが、現在個人貸出目標登録割合は、これは利用登録者数を人口で割ったものになりますが、現在 27.9%ということになっております。新花巻図書館で

は、開館から 10 年後にはこの割合を 50%に引き上げることを目指しております。これによって市民の半数が図書館を利用するという目標を設定いたしております。

次に 15 ページに行きまして来館者目標ですが、新花巻図書館では貸出以外の利用も含む年間来館者数として、オープンから 1 年後に 35 万人、10 年後に 40 万人を目標とします。その考え方につきましては、人口、こちらに書かれているように細かい数字がございますが、最終的に現状の人口、個人登録者割合、個人貸出登録者数をそれぞれ備考の欄に書かせていただいた計算により計算させていただいて、オープンから 1 年後は 355,398 人という数字が出ましたので、35 万人と設定させていただいております。またオープンから 10 年後につきましては、402,625 人という数字が算出されましたので、40 万人という数字にさせていただいております。なおこの考え方なんですけれども、人口変動や図書館の利用状況を先の先進自治体のデータをもとに設定して計算させていただいております。高い目標じゃないかということで試案検討会議ではご意見をいただきましたが、私どもとしてはある程度高い目標を掲げた上で準備をしていきたいということで準備しておりますのでその部分につきましてもご意見を頂戴できればと思います。

次に 15 ページ、そのままですけれども、図書館サービスの基本と種類についてでございます。図書館としての機能、資料と情報の収集およびそれらの提供をサービスの基本といたしまして、レファレンス、企画展示やセミナー、学校図書館との連携、新しいシステムなどについて検討、こちらの方で整理しております。細かく書かれておりますので割愛させていただきながらご説明させていただきますが、図書館のサービスとしては一つ目、資料と情報の収集及び提供を当然のごとく基本とします。次に利用者が家庭で新しい情報やスキルを得たりそれを成果に結びつけるサービスを提供します。紙媒体と電子媒体の資料を補完的に提供します。市立図書館の中核としての役割を強化いたします。児童サービスや学校図書館との連携の拡充をしたいと考えております。また地元の資料は宮沢賢治に関する資料の充実も図りたいというふうに考えておりますし、宮沢賢治関連機関などとの連携を踏まえて資料の提供を可能にしたいというふうに考えております。また、多様性に配慮して親しみやすい施設としたいと考えております。次に引き続き好奇心を育む図書館を目指したいというふうに考えております。レファレンス機能も強化したいというふうに考えております。インターネットは新技術を活用します。こちらにつきましては今、日進月歩進歩しておりますのでそちらの分もある程度活用してまいりたいというふう

に考えております。また行政に関する情報提供を充実させたいとしておりますので、その部分につきましてはこちらにちょっと細かく書かせていただいておりますがご確認いただければと思います。

サービスの種類になります。サービスの種類でございますが、閲覧、貸出、レファレンス、リクエストサービス、図書館企画展、講演会やセミナー等の開催、学校図書館の支援、情報発信の強化や新たなシステムの対応についてこちらにもまとめさせていただいております。申し訳ございません一つ一つ読んでいくと時間がないのでご確認いただければと思いますし、資料の方ご確認いただければと思います。

18 ページをお開き願います。こちらでは図書館の利用者別に提供するサービスの考え方を整理しております。項目といたしましては乳幼児、児童、ティーンズ、成人社会人、高齢者の方、障がいのある方、子育て世代へのサービスだったり、観光者や移住者へのサービス、外国の方へのサービスをまとめております。かいつまんでお話をさせていただきますと、乳幼児、児童のサービスといたしましては当然のごとく本の世界に誘いまして、一番に書いておりますけども、知識の入り口に案内するようなサービスの提供を考えていきたいと思えます。また3番目、本との出会いを支援するためにブックリストの作成、配布をしたいというふうに考えております。ティーンズにつきましては従来の子供たちが本を読む、勉強する、一番に書いておりますが、音楽を楽しむ、友達づきあいやお喋りを楽しむというような生活パターンを考えて、世代の感覚に合わせたサービスを新たに行いたいというふうに考えております。成人社会人のサービスにつきましては仕事に役立つ情報の提供に力を入れたいと考えております。こちらは農業青年団体の方から農業の、例えば農薬等の資料が欲しいというようなこともございますので、図書館として専門書を準備するような形も考えていきたいと考えております。高齢者への方のサービスなんですけど、皆さんが読みやすい環境を提供することで、機材だったり読みやすい環境を提供、あとはシステムで対応できるような姿勢で対応したいということで準備しております。障がいのある方へのサービスです。先ほど図書館長の方からもお話がありました通り、いろいろ障がいの種類がございますので、ある程度いろいろな障がいに合わせたサービス、視覚だったり、聴覚だったり、それから四肢の部分、いろいろございますので、そういう方に対応できるサービス、家具の配置も含めて考えていきたいというふうに考えております。子育て世代、20 ページになります。子育て世代につきましては妊産婦の方も来ていただけるように、家具等々の要望を持って配置したいと考えておりますし、利用世代を考えた配

置を考えております。あとは読み聞かせですね。読み聞かせ等々も実施していきたいと考えております。あと観光客や移住者、花巻市は観光客も多いところでございます。他の自治体例えば長野県小布施の図書館とかですと、観光案内所としての図書館という機能を持っております。例えば図書館に来てその街を知る、どういうところがあるの？という部分を提供するような観光者にも対応できるようなところになればいいなというふうにも考えております。また外国の方も増えてまいりましたので外国の方にも同様にサービスが提供できればと思いますし、今住んでらっしゃる外国の方々が困ったことがあるときに助けられるような資料を提供できるようなサービスも検討してまいりたいと思います。

次に 20 ページの下段、図書館サービス網と新図書館の役割でございます。新花巻図書館を中央館として、大迫図書館、石鳥谷図書館、東和図書館を地域館として位置づけたいというふうに考えております。中央館はサービス網や企画マネジメントを行い、全市民の資料要求に応じる中心図書館としての役割を担い、地域館は市民の身近なサービス拠点として貸出すサービスや読書相談サービスを提供し、地域特有の資料収集を行いたいというふうに考えております。また地域館で対応できない場合は連携して中央館の資料や情報を提供したいというふうに考えております。21 ページ以降それぞれ中央館地域館の機能、その他施設等の連携やボランティアとの協働について整理しておりますのでご確認いただければなというふうに思います。

22 ページにまいりたいと思います。下段、利用方法についてでございます。利用に当たっては、多くの市民が利用していただけるよう、開館時間、貸出点数、貸出期間について次の案を基本として考えております。案といたしましては 23 ページの表組みになっておりますが、上から開館時間につきまして、現行と変えまして、9 時半から 19 時、午後 7 時までとしたいというふうに考えております。こちらにつきましてはあくまで図書館サービスを提供する時間、本を貸したりレファレンスサービスという部分について提供する時間はその時間で考えております。ただし、図書館、今度は多目的施設だったり、学習施設がございますので、そちらにつきましては 9 時から午後 9 時まで利用できるように開館したいなというふうに考えております。また休館日につきましては今、花巻図書館は定休日がない状態でございますが、資料管理の部分だったりも含めまして平日 1 日を休館日と設定させていただきたいと思います。例えば本当に案ですけれども、ここにつきましては他の館とも連携して、休館日の設定等々はこれから考えていきたいと思っておりますし、あとは休館日として

は年末年始、月1回の資料整理日、蔵書点検期間というふうに考えております。次に貸出点数と貸出期間でございますが、こちらにつきましては計画としましては、本・CD・DVD等の資料につきましては15点以内、市内どこから借りても15点以内で貸し出しできるというふうに変えたいと考えております。期間につきましては3週間、移動図書館については次の運行日までというふうに考えております。ただし、こちらにつきましても開館後の利用者のニーズだったり、例えば市民のライフスタイルが変わってくるかと思えます。そういう部分を踏まえて見直しは随時行ってまいりたいというふうに考えております。

次に24ページをお開き願います。中段、蔵書・資料の収集についてですが、現花巻市立図書館は花巻市立図書館資料収集方針や、花巻市立図書館資料選定基準に基づいて資料を収集しております。現在の蔵書構成を見ますと、一般、ティーンズとも文学が多いという特徴、こちら何回かこの場でもご説明させていただいたと思います。文学が多く所蔵している構成比に偏りがあるものというふうに計画室では分析させていただきました。新花巻図書館の整備にあたっては基本方針の一つでございます、暮らしや仕事、地域の課題解決に役立つ地の情報拠点としての図書館の実現さらには多様化高度化する市民のニーズに対応するため、出版状況や先進図書館を参考に検討した、新たな蔵書構成目標を設定しております。こちらに目標を設定しましたので、開館に向けて具体的な蔵書計画、今の図書館とも連携しながら進めてまいりたいと考えております。なお、広い分野の郷土資料の収集・保存を拡充、視聴覚資料や電子資料の活用についてどのように取組むかにつきましては、同じようにまとめておりますのでこちらの方、大変恐縮でございますがご確認いただければと思います。その中でも宮沢賢治に関する資料につきましては市民の方から宮沢賢治の出身地にふさわしい図書館にしてほしいなどの意見も多い状態でございます。今後出版される図書資料もちろん、未所蔵で購入可能な資料は古本も含めて積極的に収集して地域スペースにおいて配架する予定ですが、宮沢賢治専用のスペースを設けることも検討しております。またですね資料について、イーハトーブ館と役割分担もしたいというふうに考えております。現在イーハトーブ館で保有している専門的な研究資料や絶版、購入が入手困難な資料等につきましては、権利の関係から引き続きイーハトーブ館で保有することといたしますが、図書館でも閲覧だったり貸出しができるようなシステムをちょっと構築したいなというふうに考えております。

続きまして足早で申し訳ございません29ページをお開き願います。新図書館の施設と規模ですが新花巻図書館はユニバーサルデザインとして子どもから高

齢者、障がい者の全ての人が利用しやすい施設を目指したいというふうに考えております。閲覧席と閲覧スペースは多様な読書閲覧需要に対応するため、静かに閲覧したい人のための閲覧スペースや、自由に話ができる閲覧コーナーなど、十分なコーナーを設置したいというふうに考えております。また児童生徒、学生や一般の利用者が個人、グループで学習ができるスペースや自主的な生涯学習活動を支援するために、多人数で生涯学習活動ができるスペースや音楽や映像等の視聴覚資料を利用できるスペースを設置する他、音楽や映像等の試写等ができるスペースを設置したいというふうに考えております。また市民の方から市民の交流の場となる多目的スペースを備えた図書館にしてほしいとも意見も多くございますので、多目的に活用できるスペースを設置したいというふうに考えております。

次、31 ページの中段でございます。新花巻図書館の収蔵能力でございます。新花巻図書館はオープン後約 50 年間の資料増加に対応するため、70 万冊の収蔵スペースを確保したいというふうに考えております。利用頻度の低い資料は開架箇所から閉架書庫へ移動し、常に新鮮で魅力的な資料を提供できるようにしたいというふうに考えております。なお、オープン時蔵書数は収蔵能力の 70 万冊の 4 割にあたる 28 万冊程度としますが、その具体的内容については今後蔵書構成や財政状況、デジタル化、市の人口などを考慮しながら、収蔵資料や蔵書数を引き続き検討したいと考えておりますし、先ほどお話があった、できるだけ面出しをした本を配架したいというふうに考えておりますので、この程度の数量というふうに考えております。

32 ページ以降です。具体的などういうものを設置するかという部分、基本計画に基づく空間計画の方、記載しております。具体的な内容についてはそちらをご確認いただきたいと思います。32 ページの中段、表 9 といたしまして、どれぐらいの面積だということをお示しさせていただいております。

こちらあくまで現段階での数値になりますことをご了承いただければと思いますが、エントランスページにつきましては 200 m²程度、開架・閲覧スペースについては 2,200 m²程度、閉架書庫スペースにつきましては 800 m²程度、その他スペースにつきましては先ほども申し上げました学習スペース等々のスペースについても 800 m²程度で、事務スペースにつきましては 500 m²程度で、計 4,500 m²程度を予定しております。この面積につきましては日本図書館協会が発行しております、ある程度、花巻市と同規模の人口を持ちます図書館の面積割合から計算させております。8 万から 9 万の市の図書館でどれぐらいかということをして全て確認させていただいて、これぐらいの規模ということで算出させて

いただいております。

次に建設場所についてご説明したいと思いますので、資料の 1-2 の方ご準備いただきたいと思います。なぜこちらの方を説明させていただくかと言いますと、基本構想の方で建設場所につきましては、ある程度協議した上で基本計画に決定して載せるということがございました。こちらの部分でいろいろ時間がかかってご心配かけた部分もございましたのでご説明させていただきたいと思います。

新花巻図書館の建設場所につきましては、新花巻図書館整備基本構想の建設場所に関する方針で、「図書館は、市民を初めとする利用者にとって、利用しやすい場所にあるべきであり、交通アクセスが良くわかりやすく、市全域から行きやすい場所で、十分な駐車場も確保できる場所が望ましいと考えます。また、図書館は市街地再生に資する施設としてまちづくりや都市計画とも整合したものとする必要があり、本市は平成 28 年 6 月に市街地の定住化を促進し市街地に都市機能を誘導する「花巻市立地適正化計画」を策定し公表しましたが、新しい図書館は其中で示す「都市機能誘導区域」に整備することとし、場所によっては近隣施設との連携や他施設との複合化など、民間との連携も含めて検討し、候補地を数箇所選定した上で基本計画において場所を定めることとします。」とし、また花巻市議会から令和 2 年 3 月 18 日に議長を除く任意で構成する特別委員会がございました。こちらにつきましては令和 2 年 12 月 17 日付で建設場所についてということと、建設用地についてということと、複合化についてということで 3 項目提言がございましたので、こちらを踏まえて市では検討を引き続き進めてまいりました。

順を追って説明させていただきたいと思います。資料 1-2 の 2 ページ目をお開き願います。7-2 からの部分を説明させていただきたいと思います。

令和 3 年度には市が市議会の提言を受けて市有地に単独施設を建設する方針に転換をさせていただいて、新花巻図書館整備基本計画試案検討会議を設置したことは先ほど来ご説明させていただきました。その中で同会議において建設場所について検討、ご意見をいただいてまいりましたが総合花巻病院跡地と花巻駅 JR 用地の 2 箇所の意見が多く、同会議においては最終的には花巻駅 JR 用地がいいという声が多かったところでございます。

令和 4 年 10 月から計 17 回の市民説明会が行われましたが、市民説明会では総合花巻病院がいいという声も多くありまして、また、双方の建設した場合の事業費が不明確だと比較できないという声がございました。このため、市議会の予算議決させていただいて事業費調査、イメージパース作成などを経て建設

場所の比較をする調査だったり、令和6年度には市民の意見を集約するために市民会議をさせていただいております。

市民会議につきましては、令和6年3月末現在の住民基本台帳25歳以上の3,500人に無作為抽出して案内を送付させていただいております。75名の方から参加希望がございまして、10代から80代の方まで参加がございました。市民会議では二つの候補地についてメリットやデメリット、デメリットの解決策について話し合ってくださいまして、どちらの候補地が望ましいか自由に意見を述べるなど、対話を繰り返す中で、それぞれ個人の意見をまとめ、資料にも配布しておりますヒアリングシートを個別に書いていただいております。その中で重要視された分類ということで、上位5つ「アクセス」「活性化」「安全」「周辺環境」「駐車場」ということが市民会議に参加された方の重要視された分類でございました。その部門ごとの候補地がどちらが良かったかというのと、「アクセス」は「明らかに駅前」、「活性化」も「明らかに駅前」、「安全」は「どちらかといえば駅前」、「周辺環境」は「どちらかといえば駅前」、「駐車場」は「どちらかといえば病院」というお答えをいただいております。ヒアリングシートの方ご覧になっていただければわかりますが、どちらでも良いという答えもございまして。こちらにつきましては市民会議に参加された方が、「悪く言うけどどちらでもいい」ではなくて、良い方の「どちらに建っても良い図書館ができると思う」という考え方を示された方というふうにご理解いただければと思います。如何せん、「どちらでもいい」と悪くってしまう方もいらっしゃいますけれども、参加者の方々は真摯に考えていただいている、どちらに建っても良い図書館は建つと思う、という考えのもとどちらでも良いというお答えを示していただいたものと考えております。

資料ですね、市民会議の結果を踏まえまして、先ほど来お話ししている基本方針等々、利用者の多い、利用を多くしてほしいという市の考えも踏まえまして、花巻駅前を建設候補地とさせていただいております。

最後に建設候補地にあたりまして、署名だったりいろんな声をいただいております。署名につきましては病院跡地にしてほしいという部分、宮沢賢治のゆかりの図書館にしてほしいという部分、あとは多目的スペースを作してほしいという三つが書かれた署名でございました。その中で私どもの考えとしましては、「宮沢賢治ゆかり」と「多目的スペース」につきましては、市の考え方とも一致しましたし、反映させていただきたいと思いましたが、署名のお声を反映させていただいておりますが、場所については、市としての考え方として駅の方にさせていただいております。あと実は、若者の団体からの要望だった

り、高校生のアンケート結果というのがございました。高校生の方からは駅前がいいということだったり、複合施設にしてほしいという声がございました。ただ、そちらにつきましても、駅前ということは実現できましたが、複合化という部分につきましては議会の提言で単独館とするという提言がございましたので、そちらの方は反映できませんでした。できるだけ市民の方からいただいた要望を、お声を反映しながら作成させていただいたというように考えております。すみません説明長くなってしまいました。よろしくお願いいたします。

(質疑)

(○坂本会長)

はい、ありがとうございます。この膨大な資料を的確にご説明いただいたような気がしております。それで市民に対しても本当に丁寧に丁寧にここまで歩んできて、これだけ徹底して市民の声を聞いて、そして、なおかつ市民会議で集約して、そこで話し合って、メリット、デメリット、デメリットの解決策まで話し合ったというのは本当に素晴らしいことだなと思っております。それでアンケートの中にもありましたけれども、早く、もういいから早く作ってほしいというのが結構目立ちました。その気持ちも汲んでいただきたいかなと思うところです。それでは今のご説明に対して質問がございますでしょうか。

はい、菅原委員さん。

(○菅原委員)

確認ということになります。基本計画の試案の14ページ、(資料)1-1の14ページになります。考え方を確認したいだけなんですけど、先ほどの説明で貸出目標と登録者の目標というところが現状が3.3冊で、11.7を目指すというふうな形での表を説明をいただきました。これは新花巻図書館の数値ではなくて花巻市の4つの図書館の合計値として示されたもので良かったでしょうか。

(○高橋次長)

お答えさせていただきます。おっしゃる通り市全体として4館としてここを目指すというふうに考えております。

(○菅原委員)

つまり、私が解釈するにはオープンする中央図書館のみならず、他の石鳥谷や大迫、東和も底上げをしていくというふうな考え方だよってということです。はい、分かりました、ありがとうございます。以上です。

(○坂本会長)

この数字についてはご意見が欲しいというふうにおっしゃってございました

けれどもすごい数字ですよ。オープンから 10 年後に登録者の割合が 5 割。すごいなと思って見てました。でも、みんながこれだけ話し合ったから心の中に図書館が根付いてると思うんですね。期待を持ってこの数字でいいのかなって思いました。皆さんいかがですか。これだけいっぱいだとちょっと大変ですけども

(○堀合委員)

試案検討会議でもお話しましたが、ものすごい数値目標だなと思ってましたが、ただ、先ほどの会議でも話しましたが、学校図書館とのオンライン化というか学校図書館のデータベース化が進んでいるようですので、そういうこととか、今後高齢者対応として、移動図書館等の充実も含めれば、何とか、今は学校と図書館が繋がっていないのでこういった数字ですけども、目標値にしてもいいのかなという考えにはなってきました。

ぜひ、いろいろ新図書館以外のそういった学校図書館、移動図書館あるいは学童にも出向いてとか、そういった多方面での利用者を取り入れるというところを進めれば目指してもいいのかなという考えにはなってきましたので、ぜひぜひそういった方向に向けての対応をお願いしたいと思っております。

それからあと 2 点です。試案検討会議 1 回目から参加しましたが、4、5 年前と比べてかなり資材等が高騰しているのではないかと。そういうのも話し合いもしてきましたけれども財政的に実現可能だと捉えてよろしいのでしょうか。もう一点です。JR 花巻駅の用地に不安だったのは現図書館で利用者の多い高齢者は立体駐車場大変不安だという、私もそうですけれども、ただ今回提案された中身を見ますと、平地にするといいますか、立体ではない駐車場を増やす、というところで安心した利用者も多いのではないかなと思いますが、その辺も大丈夫と捉えているのでしょうか。イベント等がなはんプラザとかその周辺でもありまして、なはんプラザに入ろうと思っても駐車場、ぐるぐる回ることもありましたので、その辺も含めて、ご回答お願いいたします。

(○高橋次長)

お答えいたします。まず一点目の工事費用、単価の部分なんですけども、昨年度ちょっとご説明させていただきました事業費の比較調査というものをさせていただきました。その中で現状を踏まえて私どもは専門家の方をお願いしたんですけど、工事デフレーターという、どれくらい上がるかっていうのを踏まえた事業費の方、算出していただいておりますのでこれ以上上がらなければ、大丈夫かなという回答にはなると、現状では対応できる数字かなというふうに考えております。

あと駐車場のお話ですけども、駐車場につきましては堀合委員おっしゃる通りでございます。当初立体駐車場という案もございましたが、市の方で様々検討させていただきまして、平面で駐車場を設置するということで準備しております。駐車場につきましても調査したところ、実際は駐車場全体の 60 台ぐらいの空きが日常あるということでございますので、それにプラスして駐車場を新たに設置したいということもございまして、高齢者の方だったり子育て世帯の方、身障者の方の専用の駐車場は図書館の近くに 38 台程度作りたいなというふうに考えておりますので、ある程度網羅できるかなと考えております。ですので、イベント等々の場合につきましては様々な方法をつかって、大丈夫だというふうな数字を押さえてはいるんですけども、図書館の利用する方々が不便にならないよう準備を進めてまいりたいというふうに考えております。

(○坂本会長)

よろしいですか。はい、ありがとうございます。はい白岩委員さん。

(○白岩委員)

基本計画の試案はもうすごく素晴らしい中身だなと思います。私も 4、5 年前ワークショップから参加して試案検討会議も全部傍聴して市民会議も傍聴全部しました。大体見てますし、試案検討会議も委員の時もありました。ずっと時間かかってちょっとびっくりしたのは、今月市議会で建設地決定はいつになりますかという質問に対して、この会期中に答えますと答弁した次の日にもう議会説明会を開かれて、駅に決まりましたって、随分とんとんでやって、試案検討会議もありますとこの 10 日間ぐらいすごいい、とにかく早くてびっくりしたんですけど、今までなんで長引いたかと言ったら、市民の意見を集約、多数決で決めないで市民の意見を集約しますと、ずっとその動向を待ってたんですけど、今回の市民会議の場合は集約ではなく、項目を分類した上での 10 項目の中の上の 5 項目を多数決で採用して、その後のファシリテーターを交えて共通の意見をまとめて、統合集約したという作業はしてないんですよ。本当に数で決めたんで、真に集約したと私は言えないと思います。その辺どうお考えなのか聞きたいと思います。

あと、試案検討会議を閉会するとしたんですが、設置要綱では、計画試案の策定が完了するまでが任期になってますので、最終試案の最終確認と承認まではやるべきだと思います。私の入っている病院跡地派が多くてそう思っているんで、ちゃんとその説明ですか、合意形成ができる説明をして、それができて最終的に意見の集約は成り立つので、それをきちんと説明はお願いしたいなと思います。いろいろ言いましたが、本当に集約という意味ではちょっとそこ

までやってないんじゃないかなと思うのですが、どうでしょうか。お願いいたします。

(○高橋次長)

図書館協議会の場の質問ではないかと思いますが基本計画に関する、試案に関する事なのでお答えさせていただきます。

まずスケジュールが早いんじゃないかという考え方につきましては、私どもも実はアンケートだったり、市民会議に参加した方、図書館協議会でもお話があったんですけども、できるだけ早くしてほしいという声は皆さんからお伺いしております。私達ができることというのはある程度準備させていただいて、そういう部分を早くすることだ、というふうに考えておりました。

確かに白岩委員がおっしゃる通り、集約の部分では納得いかない方もいらっしゃるかと思います。私達ができることはこういう案をある程度作成させていただいて、皆さんにお示しさせていただいて、まず道標を作ることが大事かなというふうに考えましたので、発表のタイミング的には早いんじゃないかというご意見もございしますが、私達としては市民会議のアンケートだったり、今までいただいた声を踏まえて、できるだけ早くしたいという思いからスケジュールを組ませていただいたものでございます。

もう一点、集約という形が今回できないのではないかという部分でございしますが私達、白岩委員のおっしゃったように市民会議の言葉、数だけではなく、皆さんに資料をお渡ししているかと思います。定性的な意見という部分も全て整理させていただいて確認させていただいております。そういうのも踏まえて分析させていただいた上で市として判断させていただいたものと考えておりますのでこの方向性で進めさせていただきたいと思っております。

(○白岩委員)

発表の仕方は5項目、下の5項目はもう消しちゃって、上の5項目で判断して書いてあるんでちゃんとそこからさっき言われたように分析したり、どういうふうにファシリテーターの方が意見をまとめて、こういう結果になったってちゃんと、反対派にわかりやすくちゃんと説明していただければいいと思う。熱心な方々は、跡地派の人はもう納得してないっていうので、私は駅前でもいいと思うんですが、JRも市民の意見が集約できてないと売らないとかって言っていました。だからきちんと理論立てて納得できるような理由付けとかそういうふうなので説明はお願いしたいなと思います。

(○坂本会長)

熱い思いはすごくよくわかるんですけども、ここは図書館協議会の場です

ので。

(○白岩委員)

協議会の場といってもこちら市民参画でいずれはこちらで協議するんですよ。だから配っているプリントを見てもらって、きちんと考えていただきたい。ここでもちゃんと共有するんだと。7年度にいずれ回ってくるので、きちんとそれはしないと後で禍根を残すことがありますので。

(○高橋次長)

私の方から白岩委員のお話についてご回答させていただきたいと思います。白岩委員にご心配いただいて、説明の部分ご意見として承って私どもの方でこれからどういう形でやるかはまだ検討させていただきたいと思いますが、お示しできればいいなというふうに思います。ありがとうございます。

試案検討会議につきましては先ほど来お話しする通り、試案検討会議もある程度私どもの方では一定の整理ができて、まとまったというふうに理解しております。その部分につきましては、最後に反対意見はございませんかと試案検討会議の皆さんにご確認させていただいて、その部分につきましてはご意見はなかったというふうに理解しておりますので、試案検討会議については終了させていただいて、次のステップに入りたいと考えております。

(○白岩委員)

私傍聴したんですけど、終了するってことに関して理解していない委員もいました。だからきちんと挙手をするとかしないと。私の知ってる委員3人いるけど、終わるの知らなかったとか、理解してない方が多い。私もわかりづらかったので、きちっとメリハリつけ決定して、説明をきちんとしてほしいなと思います。

(○高橋次長)

例えばこの後に、委員の皆様方に終了いたしましたというご案内を出すと、そういう部分も含めて検討させていただきたいというふうに思います。ありがとうございます。

(○坂本会長)

それでは次に他にございませんか。はい佐藤委員さん。

(○佐藤委員)

いろんな方がいて、いろんな考えを持って、生活してらっしゃって、そういうことをね、一つの意見にまとめるっていうのは本当に大変なことだっていうふうに私も図書館協議会、10年以上ここにいてですね、この新花巻図書館の建設までの変遷の紙もずいぶんもらったし、話もいろいろありましたし、やっ

ここにたどり着いたっていう気さえするわけです。

このヒアリングシートを読むと一つの物語のように感じられるっていうか、最初いろいろ思ったけど、この市民会議に出て、いろんな人と対話をして、自分の考えがこう思ってたけどこうなったとか、いろんな人の話を聞いて、それも自分の意見だけ言うんじゃないくて人の話は批判しないとか、そういうふうな約束事で話し合って交流するっていうことの素晴らしさが、このヒアリングシートに書かれていて、何か花巻市民素晴らしいって思ったし、いずれにしろ、図書館は建って、どんな図書館、どこの場所でも、どこに建ってもいい図書館が建つんだっていうふうに思ってたし、このヒアリングシートに書かれてるって私は思ってます。なので、今白岩委員さんがおっしゃったように、どうしても病院跡地に建てたいっておっしゃってる方もいらっしゃると思うけれども、建った図書館で、それが素晴らしい図書館だっていうところで勝負してほしいっていうふうに思います。以上です。

(○坂本会長)

中身ですね。ありがとうございます。他にご意見ご質問はありませんでしょうか。はい、高野橋委員さんお願いします。

(○高野橋委員)

資料 1-1、19 ページこの中にあります 5 番の「障がいがある方へのサービス」の②、対面朗読サービスなのですが、お伺いしますが、今の 4 館の中でこれやってるところはあるんでしょうか。

(○鈴木館長)

実際にこれやってるところはないです。

(○高野橋委員)

ですね。すみません確認したかったのです。子ども向けのおはなし会とかはありますけどこういう対面朗読っていうのは。一関図書館にありますよね、ちゃんと 1 部屋あって。これが新図書館ができてからいきなりこれ始めますっていうよりは、もう今現段階からできることじゃないかなと思うんですよ。令和 7 年度館長さんの説明で、やっぱり障がい者サービス、こういったことの周知っていうのにも繋がるだろうし、あとここは物理的に難しいかと思いますが、石鳥谷とか東和であればそういうスペースは確保できるんじゃないかなとは思っています。そこから例えば 5 年ぐらいかけていけば、それが周知には繋がるし、いきなり始めるとしても司書の方だけでは足りなくなれば絶対ボランティアの方にも協力要請は来ると思いますし、いつもちょっと気になってたのが、活字本とかそういうのじゃなくて、大人の人のための、あとそれからティーン

ズのためにラノベも本当は読んであげたいなっていうのは思うんです。中学校でちょっと読み聞かせとかもやっていますし。こういうふうにして子どもとかにも一緒にアプローチしていくことで、5年後10年後の利用者数の増加っていうのも確実に繋がってくると思うし、そのためには、結局今10歳の子が10年後って言ったら20歳ですから、その若い子たちのためにも、今から学校図書館との繋がりがってのはやっぱり繋げてほしいと。

すみません、2点になるんですが、そのためには、学校図書館司書が今配置されていますので、この会に参加っていうのはできないものでしょうか。どうしても生涯学習課と教育委員会とがうまくかみ合わない、今後難しくなると思うんですよ。去年、富士大で学校図書館についての講座がありまして、そのときに学校図書館司書の方何名かいらしたんですよね。話を聞くとやっぱり研修会とかそういうのが一切なくて、どこに相談したらいいとか、個人的には多分この図書館とかいろいろ相談来てると思うんですが、こういう公的な場所との繋がりがって必要じゃないのかなと思いました。

(○坂本会長)

ありがとうございます。よろしいでしょうか。

(○堀合委員)

対面朗読サービスについてですが、ずっと前に私お話した方もいますが、今の社会福祉協議会で声の広報のボランティアで月2回、広報が発行されるときに、私もちょっと関わってこの声の広報の朗読ボランティアしたことがあるんですが、そのときに対面朗読サービスも確かやっていたと思います。全てが図書館の職員でなくても、そういった社会福祉協議会等のボランティアさんも今もう既にスタートしておりますので、そういうことを活用すれば5年後数年後、できたとしても対応できるのではないかなと。例えば先ほど障がい者の方の図書についても点字図書全てを花巻図書館が収蔵するというのではなくて、県の方の点字図書館から連携して貸出等もしてもらおうとかいうように連携を広げれば可能だとか、もう既にスタートしてあるものを活用するというのも一つだと思います。以上です。

(○坂本会長)

ちょっと関連して。以前ここに申し込みがあったんです。対面朗読してほしいって。それでどうしようかということで受けて。ところが、その目の不自由な方がここに来られなくなったっていうことで実現はしなかったんですけども、そういうことが実際、だいぶ前ですけどもありました。

それから、社会福祉協議会、福祉センターには点字の国語の辞書がありま

す。そういったこともバラバラだとわからないから。それも、こんな辞書がすごいあの本棚いっぱいぐらいになるような量になるんですね。私、点訳者でもあるので。そうすると、ものすごい量だからその本棚いっぱい国語の辞典ということで、福祉センターも狭くなってきたので奥の方にやられて、みんなが見るような機会が少ないのかなって思われるんですけども。

実際にこの本読んでほしいとか新聞読んでほしいとかってというのが、ここにも申し込みがあったってということは、それで対応してくださる、やりますよって、大きくやらないけど申し込みがあったら対応します、ということで対応の準備をしてたら、これなくなったっていうふうな事実があったのでこれはやろうと思えば、できるのかなと思いました。

熊谷委員さんいいですか。

(○熊谷委員)

今の会長さんのおっしゃったようにわからない方がいらっしゃると思うんですね。いやこれ頼んでいいのかなと。例えば目の不自由な方が私は頼んでいいのかなとか。だからそういうことをきちっと周知して、図書館ではこういう方たちにもこういうようなことは、こういうサービスは使えますよということをやっぱり広く伝えるっていうことが、伝え続けるっていうことが必要なかなと思います。

(○鈴木館長)

たくさんご意見いただきましてありがとうございます。

高野橋委員さんがおっしゃられた、学校司書さんとの連携のところですけども、これは私も意見をたくさんいただいています。学校図書館は、どうやって整備してたらいいかっていう、それがものすごく遅れてますよって話をたくさんいただいています。学校図書館と公共図書館が連携するという話もいろんな上位の計画とかの中ではたくさん出てきてます。国もそれに対して動き始めているところだというふうに聞いてますけども、花巻の中で花巻の公共図書館と学校図書館と連携していこう、さっき大迫の方で、学校図書館の支援に入っているという話がありました。何かきっかけがあって、それぞれの図書館の中で動きが始まってるっていうのはあるんですけども、ちゃんと事業としてそういう支援をしていきましょう、その繋がりを作っていきましょうというのはなくて、学校文庫とか依頼があれば資料をお出しするっていう程度でしかなかったのかなと思っています。そこをどうやって越えようかっていうときに、それがすごく難しい問題だというお話も以前ありましたけども、やはり公共図書館と学校図書館の担当者している学校教育課、教育委員会との繋がりを作ってい

なきゃならないと思っています。その壁を越えなきゃいけないなというふうには、それが課題だと思ってます。なので、もう来年度というのは今の時点では難しいですけども、再来年度かもしれませんがこの計画の中にも、学校図書館との連携というのがありますので、それをどうやって繋がりを作っていくかっていうのを、まず動き出さなければいけないんだろうなと。これは新図書館の計画ですけども、さっきも言いましたように現図書館の中で、学校図書館との連携どうできるかというのは、今の時点でははっきりとした動き出しはできてません。ただこれからそれはしていかなければならないですし、その中でこの場に学校司書さんが参加するとかという話が出てくるのかもしれませんが、司書会議というのも毎月やってますけども、そういったところに学校司書さんにも入っていただいて、学校図書館の中での悩みだったりとか、公共図書館ってこういうふうにやってるんだとか、そういったことを共有していくことがまず一歩なのかなと思っておりますので、現時点ではまだ始められてはおりませんが、そういうところから出来たらいいのかと考えております。

それから社会福祉協議会の声のボランティアのお話や坂本会長がおっしゃられた点字の辞書とか、そういったものをちゃんと集約してですね、何ができるかということを考えていかなければならないと思っております。そしてそれをちゃんと広報する。しないと伝わらないですよというご意見を熊谷委員からはいただきましたので、その辺をちょっと時間はかかるとは思います、考え方を整理していきたいと思っております。ご意見ありがとうございます。

(○高橋次長)

1 件だけ新図書館の状況ですが、学校図書館につきましては私達教育委員会さんと現図書館のハブになれる存在だというふうに考えております。

私達としては学校図書館司書さんからヒアリングした経緯もございますので、例えば小中学校だけじゃなくて高校の司書の先生方もかなり困っているという事実も私達は把握しておりますので、そういうのも含めて現図書館と相談しながら、現図書館があつての新図書館ですのでそういう部分を含めて検討を引き続きさせていただきたいと思っております。

(○坂本会長)

はい、ありがとうございます。前向きなお話をいただいて、とってもいいなと思っております。他には、はい、白岩委員さん。

(○白岩委員)

基本計画試案の2 ページ目から新花巻図書館整備基本計画の位置づけというのがあるんですが、図書館単体で考えるといろんな方の意見とか考えがあるか

ら、やっぱりまだバラバラというか、建設地もなかなか決まらなかったと思うんです。基本計画の位置付けで一応これ書いているんですが、図でしか示してなくて、実際に人づくり分野の生涯学習とか、あと教育振興基本計画の中で、あと子ども読書活動推進計画もそうかもしれないんですけど、その中のどの内容が整合性がとれているかというのをきちんと書いてほしいと思うんです。あまり書いてないんですけど、ちゃんと要はまちづくりの位置づけとか役割をきちんと整合性がありますよって言う、それぞれの基本目標というか方針等の整合性というのをきちんと書いて、わかりやすくして、文章にしてもらえば、例えば反対派の人も納得するんじゃないかなと思って、そういうのをきちんと文章として示していただきたいのと、よろしくお願いします。

(○坂本会長)

要望が出ました。

(○高橋次長)

ありがとうございます、以前白岩委員が検討会議委員であったときに、図示してほしいということで図に替えた経緯もございましたが、文章にしてほしいということでしたのでご意見として承りたいと思います。ありがとうございます。

(○白岩委員)

今日お配りした中にもそれ書いていますので、例としてそれを見てもらって実際の計画と合うようにというか、そうだったら駅前がふさわしいね、みたいなストーリーで書いていただきたいなと思います。よろしくお願いします。

(○坂本会長)

これまだ未定稿ってここにはっきり、あの表紙にありますので、これが改定になるかもしれません。もっとわかりやすくなるように、誰が見てもわかるっていうふうなのが理想ですけども、忙しい時間、本当にこれだけまとめたいただいてありがたかったなと思います。

それではここを打ち切ってよろしいでしょうか。それでは、議題のその他まで終わりましたので、事務局の方にお返しいたします。

4 その他 なし

5 閉会（高橋花巻図書副館長）